

1 学会・研究会及び研修会への出席 (R4.4~R5.3)

年 月 日	学会・研究会・研修会の名称	開催地	出席者数
8. 30	地域保健総合推進事業第一回関東甲信静ブロック会議	Web 開催	2
10. 31 ~ 11.1	第 59 回全国衛生化学技術協議会年会	川崎市	2
11. 4	地方衛生研究所全国協議会近畿支部 自然毒部会研究発表 会	Web 開催	1
12. 23	地域保健総合推進事業第 2 回関東甲信静ブロック会議	Web 開催	2
R5.1. 24	Agilent Infinity Series HPLC 1260pump メンテナンス研 修	八王子市	1
2. 15	地方衛生研究所全国協議会関東甲信静支部第 35 回理化学 研究部会研究会	Web 開催	1
3. 7	GLP 検査部門研修会	県庁	11

2 当センターで受け入れた視察、研修

年 月 日	団体名	人数	目的
R4.6. 6	群馬大学医学部	31	見学・研修
11 2	群馬大学医学部保健学科	39	見学・研修
R5.2. 22	食品衛生管理者登録講習会(全国食肉学 校)	31	出張講座

3 紙上・学会等での発表

学会・研修会等

アレルギー「大豆」の加工食品への表示及び含有量実態調査：大島裕之、小淵和通、丹羽祥一、関慎太郎、見城信子、浅見成志、第59回全国衛生化学技術協議会年会、2022（10月）

食品のアレルギーは、7品目に表示が義務付けられており、大豆を含め21品目に表示が推奨されている。平成30年の平成30年度食物アレルギーに関連する食品表示に関する調査研究事業報告書によると「何らかの食物を摂取後60分以内に症状が出現し、かつ医療機関を受診したもの」を対象とした場合、大豆を原因とするアレルギーは、表示が推奨されている品目中4番目に多かった。

しかし、アレルギー表示が推奨されている21品目については、大豆を含め検査法が通知されておらず、当所においてもアレルギー「大豆」の検査実績はない。そこで、加工食品中のアレルギー「大豆」について、製品の表示及び含有量を明らかにし、食の安全・安心に寄与することを目的に実態調査を行ったので報告した。